

秋も地域の皆さんと



区政報告会＆学習会を開催

10月15日、初参加の方も含め会場いっぱいにお集まりいただきました。私からは区の昨年度決算の特徴や平和の森公園再整備・中野駅周辺の再開発問題を中心に報告。また、植木都議からは豊洲新市場での土壤汚染対策問題や東京五輪の施設経費削減について都議団の調査・提案とともに、いま、都民世論が都政を大きく動かしていることが報告されました。「誰もが安心の医療・介護を」をテーマにした学習会では谷川智行医師から安



▲新井区民活動センターにて(10/15) ▲講演する谷川智行 医師

第10次 東北被災地支援へ

12月16日・17日の日程で、東北の仮設団地へ伺います。今回で第10次となります。お正月用品や冬物衣類、日用品などをお届けする予定です。皆さまの重ねてのご協力をお願い申し上げます。

- 支援募金（現地商店で物資を購入）
- 冬物衣類・お正月用品など（新品・新品に近いもの）

※ご協力いただける方は、電話・メールなどでご一報いただければ幸いです。

INFORMATION

区議会定例会のお知らせ(予定)

11月24日(木)～12月8日(木)

区役所3階、区議会事務局にて手続きをおこなえばどなたでも傍聴できます。ぜひ、お出かけ下さい。

浦野さとみの質問予定日

11月24日(木) 午後2時頃～

- 本会議: 11/24(木)・25(金)・28(月)、12/8(木)
- 常任委員会: 11/30(水)、12/1(木)・2(金)
- 特別委員会: 12/5(月)・6(火)



浦野さとみプロフィール

1980年9月生まれ(36才)・千葉県松戸市出身。2003年千葉医療福祉専門学校・作業療法学科卒、中野共立病院・リハビリ室へ入職。2008年リハビリ室主任。2011年に8年間勤めた病院を退職し、区議会議員選挙立候補、初当選。2015年2期



日本共産党
中野区議会議員

浦野さとみの区政報告 No.66

ほっこり通信

地域のこと、身近なお困りごとなどお気軽にご相談下さい。
弁護士など各専門家と連携し、解決に力を尽くします。

- 携帯電話 : 090-8049-4784
- ホームページ : [浦野さとみ](http://urano@jcp-seven.jp) 検索
- e-mail : [浦野さとみ](mailto:urano@jcp-seven.jp)

聞かせて、
あなたのこと、
街のこと



2015年度決算 区政史上最大の基金(貯金)積み立て 基金総額は**629億円**に

2015年度決算を審査する議会が行われました。これまで党区議団が区民の皆さんとともに要望してきた、すべての区立小中学校の耐震化、私立幼稚園の保護者補助金拡充、社会科見学バス代の一部復活などが実施されたことは評価できます。しかし、アベノミクス不況のもとで、いかに「住民の福祉向上」に取り組むかが鋭く問われていました。

174億円もの基金積み立て

一般会計決算では区政史上最大の174億円余りの基金積み立てを行い、基金残高の総額は約629億円にもなりました。子どもの貧困が顕在化するなか、引き下げをおこなった就学援助基準の改善や毎年のようにPTA連合会からも要望が出されている学校設備の改善をはじめ、木造住宅の耐震化助成、若者や高齢者の住まい確保支援等をおこなうことは十分に可能でした。

区民の切実な願いにこだえる区政へ

中野駅周辺の大型開発に本格的に踏み出す年度に

更に、この年度は不要不急の中野駅周辺の大型開発に本格的に踏み出し、中野駅周辺まちづくり費は約27億円の決算値となりました。中野駅西側南北通路および橋上駅舎整備に係る区の負担額は71億円という当初の予定から119億円へ膨れ上がっています。財政規模が膨らんでも見直そうとしないことは問題です。

区民生活を支えることが求められている

区は各事業において、国や都の補助金を最大限活用するとしていますが、私達の大事な税金であることに変わりはありません。自治体の責務である「住民の福祉向上」の原点に立ち返った予算編成へ、また、区民の声が届きいきる区政へ、引き続き皆さんと力を合わせます。

平和の森公園にバーベキューサイト!!!

-縁とひろばはいまのまま残しての声は聞かず、その一方で-

新体育館・多目的広場・300mトラック等、
再整備費用108億円 拡張予定地土地取得17億円

10月上旬の各所管委員会において、【平和の森公園再整備基本設計(案)】が報告されました。8月末に示された中間まとめと同様、平和の森公園再整備に係る概算整備費は合計で約108億円となっています。再整備に伴っては、185本の木が伐採される予定です。再整備構想(案)が示されて以降、区が主催する



▲公園のど真ん中にバーベキューサイト(赤枠内に5区画)



区役所・サンプラザ地区再開発

駅前に超高層ビル!!! 1万人アリーナ!!!

区役所・サンプラザ地区再整備事業に係る報告の中で、事業協力者に選定した野村不動産を代表企業とするグループ(他、清水建設・住友商事・東急不動産等)から提案概要書が示されました。その中身は、駅前に超高層ビルおよび1万人規模のアリーナを含む複合施設整備です。区はこの事業によって新庁舎とアリーナの整備費用を確保するとしています。本当にいま、こういった整備が必要なのでしょうか。



▲事業協力者が作成した提案概要書より

たばこ・お酒・
におい・ゴミなどが
心配です

本会議質問ハイライト

区長の政治姿勢について

- ・安保法制に対する見解
- ・福祉用具貸与など介護の負担増について国が検討していることに対し、中止・撤回を求めるべきでは

障害者施策の拡充を

- ・精神障害者手当の実施を
- ・点字版の区報発行を

保育の潜在的ニーズの把握を

「認可保育所への入園を希望しても不承諾となり、やむを得ず認証保育所へ入所した児童」や「保育所に入所できず親が育児休暇を継続せざるを得ない場合の方」などは、待機児童にはカウントされない。定義 자체も緩和されているもとで、潜在的な保育ニーズも含めて把握し、児童福祉法24条1項に定められる市町村の保育実施義務をきちんと果たすべきではないか。

平和の森公園 再整備について

- ・就学援助基準の引き上げ
- ・新入学学用品費については、支給時期の前倒しを
- ・給付型奨学金制度の創設を



▶9/9議員団を代表して
本会議質問

区議会史上初 秘密会

今議会の中で急遽、「一般会計補正予算」「訴えの提起について」の2議案が上程されました。この議案に対し、自民・公明・民進の各党の幹事長から議事を秘密会で行う動議が提出され、3分の2以上の特別多数決で動議が可決されました。そのため、この2つの議案内容や質疑等を明らかにすることは懲罰の対象となるためできませんが、情報公開の透明性を含めた議会改革が叫ばれるこの時代、秘密会として審議することになったことは非常に残念です。なお、秘密会で行う動議に反対をしたのは共産党のみでした。

区立幼稚園存続を

今年の1月末、当時、区が4月策定に向け準備を進めていた「新しい中野をつくる10か年計画(第3次)」において、素案にはなかった区立幼稚園の廃止が突然、示されたことに対し【区立幼稚園存続を願うことについて】など4つの関連陳情が議会に提出されました。党区議団は計画が策定される前に採決すべきだと主張していましたが、自民党や公明党などによって継続審査の扱いとなっていました。存続を願う署名はどんどん増え、その数は1万3千人を超えるました。多くの保護者・関係者が見守る中、今議会で採決がおこなわれ、賛成多数で4つの陳情のうち2つが採択されました(賛否は下図参照)。

●第3回定例会での主な議案・陳情等に対する各会派の賛否(賛成○ 反対×

	結果	日本共産党	自民党	公明党	民進党	無所属(8名)
区立幼稚園存続を願うことについて	採択	○	×	○	○	8名○
区立幼稚園の廃園案の検討について	不採択	○	×	×	×	3名○ 5名×
10か年計画(第3次)改定素案において示している今後の認定こども園の整備について	不採択	○	×	×	×	3名○ 5名×
区立幼稚園の存在意義について 再検討を願うことについて	採択	○	×	○	○	8名○
中野区新体育館建設計画並びに平和の森公園再整備計画の進行を一旦止めることについて	不採択	○	×	×	×	3名○ 5名×
安保法制に基づく自衛隊の 南スーダン派遣中止を求める意見書	否決	○	×	×	○	3名○ 5名×

裏面もご覧下さい▶